



Brush up Program
for professional

筑波大学 履修証明プログラム

放射線災害 専門スタッフ養成プログラム

放射線災害の全時相においてプロフェッショナルをつくる

このプログラムは、**80時間のe-learning**と**40時間の実習・対面講義・公開シンポジウム**の計**120時間**で構成しています。

放射線災害の全時相において専門の知識と技術を持って広く活躍できるスタッフの養成、専門知識を持たない者に対して、トレーナーとして指導的立場で活躍できるスタッフの養成を目的としています。

対 象

災害に関する、または興味がある

メディカルスタッフ（医師、看護師、保健師、薬剤師 等）

専門職（消防士、警察官、自衛官 等）

事務職員 等

出願資格

高校卒業以上の学歴を有し、上記職種に該当するもの

特 色

80時間のe-learning

40時間の実習・対面講義・公開シンポジウム

履修期間

原則1年間（やむを得ない場合、最長2年間まで認める）

詳細はこちら>>

<https://ramsep.md.tsukuba.ac.jp>



実習・対面講義

V 課題解決型放射線災害演習(40時間)

放射線災害および放射線の健康リスクに関する知識・能力を、演習およびPBLチュートリアルを通じて理解を深め、放射線災害時の全時相に対応する力を養うことを目的としたコンテンツ

V-1 放射線災害演習

基礎講習(医療活動に必要な放射線測定)
 養生・クイックサーベイ
 ホールボディカウンター
 机上演習:避難退域時検査及び医療中継拠点の設置
 机上演習:放射線事故時の対応
 統計解析演習
 原子力災害関連施設見学

V-2 対面講義

放射線災害・放射線健康リスクに関する
 PBLチュートリアル

V-3 放射線健康リスク科学セミナー

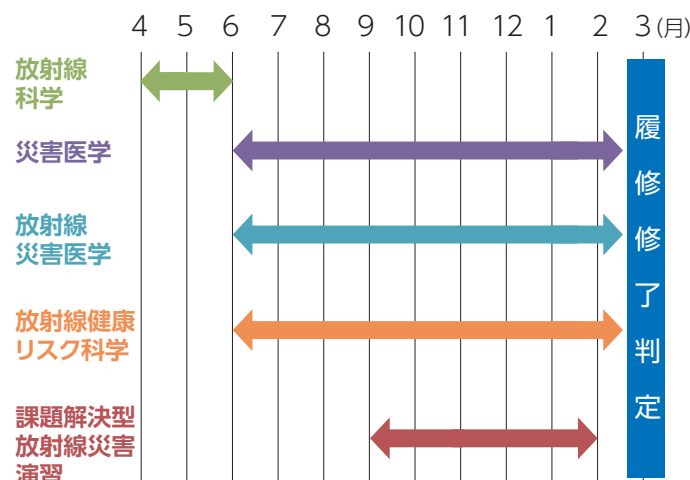
放射線健康リスク科学セミナーI
 放射線健康リスク科学セミナーII

V-4 公開シンポジウム

V-5 その他(関連学会への参加)

座学だけではなく実際に履修生が対面講義を通じて交流を深めるとともに、放射線災害に対応できる実習や対面講義を40時間設けました。実習および対面講義は、主に休日開催で実施し、社会人の履修が円滑に実施できるように配慮致します。

年間スケジュール



★ **e-learning**は、4、5月の2ヵ月間で「**放射線科学**」を受講していただき、6月から翌年2月の9ヵ月間で「**災害医学**」、「**放射線災害医学**」、「**放射線健康リスク科学**」を受講していただくスケジュールになっています。

★ **実習・対面講義**は、9～1月の休日を利用して筑波大学キャンパス、放射線災害関係施設等にて実施します。なお、実習・対面講義の詳細な日程については、履修生と検討をして決定します。



RaMSEP ロゴマークのコンセプト

- DNA** 高度医療の構成要素でもある「DNA」の構想図を形象化
- 手と手** 協力を意味し、県・大学・病院などの関係を表す
- 紫と水色** 筑波大の基本色である紫と水色で表現された医療を階調で表現
- 3つのプログラム** DNAのらせん構造をもとに、塩基対の部分を3つの柱で表現
- 六角形** ベンゼン環構造図の六角形から。六角形＝亀甲。亀甲は古くから縁起のよい吉祥文様として親しまれ「健康」を意味する



文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム

放射線災害の全時相に対応できる人材養成

Radiation Health Risk Science Medical Staff Education Program

放射線災害専門スタッフ養成プログラム



Brush up Program
for professional

筑波大学(医学群) RaMSEP 事務局
 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1
 Mail: radiopro-jimu@md.tsukuba.ac.jp
<https://ramsep.md.tsukuba.ac.jp>



「**放射線災害専門スタッフ養成プログラム**」は、**メディカルスタッフ**のみでなく、**災害に関連する専門職**、さらには**災害に関連する事務関係者等**も対象に、80時間のe-learningの履修および課題提出と、40時間の放射線災害に対応できる実習・対面講義・公開シンポジウムからなる**合計120時間**の教育プログラムを開設します。

本プログラムの履修修了生には、筑波大学から学校教育法に基づくプログラムであることおよびその名称等を示した履修証明書(certificate)を交付致します。

コース	授業科目	授業形式	時間
I	放射線科学	e-learning	15
II	災害医学	e-learning	20
III	放射線災害医学	e-learning	20
IV	放射線健康リスク科学	e-learning	25
V	課題解決型放射線災害演習	実習・対面講義	40
合計			120

e-learningは、放射線災害の専門的知識を収録した教育効果の高い動画教材を筑波大学の学習管理システム「manaba」を用いて学んでいただきます。

E-learning

I 放射線科学(15時間)

放射線災害で必要となる放射線・放射能・放射性物質等に関する基礎知識の習得を目的としたコンテンツ

- I-1 放射線物理
- I-2 放射線生物
- I-3 放射線計測
- I-4 医療統計学

II 災害医学(20時間)

災害時に必要となる医療技術、特殊性と課題、解決策、多職種連携等の基礎知識の習得を目的としたコンテンツ

- II-1 災害医学概論
- II-2 関係法規・制度
- II-3 多職種連携災害医療
- II-4 安全・情報管理
- II-5 救急医療
- II-6 メンタルケア
- II-7 教育・研修・訓練
- II-8 疫学

III 放射線災害医学(20時間)

放射線災害時に必要となる医療技術、放射線および汚染の評価等の基礎知識の習得を目的としたコンテンツ

- III-1 放射線災害医療
- III-2 環境放射線計測・汚染測定
- III-3 原子力概論

IV 放射線健康リスク科学(25時間)

放射線の健康影響とリスクに対する基礎知識の習得を目的としたコンテンツ

- IV-1 放射線健康リスク科学概論
- IV-2 放射線に関する関係法規・制度
- IV-3 放射線防護学
- IV-4 医療放射線防護
- IV-5 リスクコミュニケーション
- IV-6 核医学物理学
- IV-7 治療物理学

★ E-learningは、履修生が学びたい科目・コンテンツを選択して、規定の履修時間に到達できる**科目ジュークボックスシステム**を採用します。